

世 界 史

(問 題)

2020年度

〈2020 R 02143424〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒	万	千	百	十	一
		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。終了の指示に従わない場合は、答案のすべてを無効とするので注意すること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔Ⅰ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。設問 1， 3， 5 は記述解答用紙の所定欄に記し，設問 2， 4 はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

古代オリエント世界では，多くの神々が信仰されていた。のちのギリシアやローマも，多くの神々を奉じる多神教世界であった。こうした神々の存在を否定し，唯一の神しかいないことを主張したのが一神教である。古代オリエント諸民族のなかでヘブライ（イスラエル）人だけが，一神教を信じた民族であった。彼らは，指導者モーセにひきいられ，エジプトからパレスチナに脱出したとされる。ヘブライ人の唯一神 **A** が誕生した背景には，エジプト新王国時代末期の太陽神だけを信仰する宗教改革が，強い影響を与えているとされるが，定かではない。前1000年ころに，ヘブライ人は王国を建設し，ダヴィデ王とその子 **C** 王のもとで繁栄していたが，**C** 王の死後に，南北ふたつの王国に分裂した。やがて，北の王国は **D** により滅ぼされた。また，南の王国も征服され，住民の多くは征服した国の都に連れて行かれた。そして，約50年後に解放された。帰国を許されると **A** の神殿を再興し，ユダヤ教を確立した。

設問 1 空欄 **A** にあてはまる神の名は何か。

設問 2 下線部 **B** が行われた時代のエジプトに関して，誤りを含むものを次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 王は，王都を中部エジプトに遷都し，自らの王名も改名して宗教改革に打ち込んだ。
- イ 王は，シリア諸都市に軍事遠征を実施し，多くの都市をエジプトの支配下に置いた。
- ウ この時代，それまでの伝統的なものとは異なる特徴的な美術作品が多くつくられた。
- エ 新しい都からは，西アジアの国々との活発な交流を示す外交文書が発見されている。

設問 3 空欄 **C** にあてはまる王は誰か。

設問 4 空欄 **D** にあてはまる国名は何か。次のア～エから一つ選びなさい。

- ア ミタンニ
- イ ヒッタイト
- ウ アッシリア
- エ 新バビロニア

設問 5 下線部 **E** にあてはまる事件は，一般に何と呼ばれているか。

〔Ⅱ〕 隋唐史に関する以下の文章を読んで，各設問に答えなさい。設問 1～4 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし，設問 5 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

後漢の滅亡後，360余年にわたる分裂時代を終わらせたのは，北朝の北周の外戚楊堅である。彼は（あ）の形式で帝位につき（隋の文帝），旧長安城の傍らに大興城を築いて都とし，589年に南朝の陳を併せて南北統一を実現した。

文帝はいわゆる科挙を初めて実施するなど，中央集権の強化を図った。文帝の子の煬帝はその事業を受け継ぐと共に，南北をつなぐ大運河を開いた。これによって，長江下流域の米産地帯と，政治の中心の東都洛陽・首都長安が直結され，交通や南北の文化交流にも大きく寄与した。また対外的には，吐谷渾・林邑・流求などを伐ったが，高句麗遠征に失敗し，農民・豪族の反乱が起こり，煬帝は揚州の離宮で殺された。

一方，この隋末の混乱期に乗じて挙兵した李淵は長安を占領し，煬帝が殺されると，その孫の恭帝から（あ）をうける形式で即位した（唐の高祖）。次子李世民（太宗）は「玄武門の変」で皇太子と弟を殺し，父に譲られて即位し，628年に全国統一を果たした。また外に対しては，東突厥を滅ぼし，吐蕃を服属させ，西域諸国に従えた。子の高宗は西突厥を平定し，西トルキスタンに勢力をのばし，高句麗・百濟を滅ぼし，大規模な世界帝国が形成された。

設問 1 下線部 a の「科挙」に関して誤った記述はどれか。

- ア 隋は九品中正を廃止し、学科試験による官吏任用制度を開始した。
- イ 唐代では進士科が最も重視された。
- ウ 宋代の科挙官僚の多くは形勢戸と呼ばれる地主階級の子弟で占められた。
- エ 清末の「戊戌の変法」で科挙は廃止された。

設問 2 下線部 b の「大運河」に関して誤った記述はどれか。

- ア 隋以前にもいくつかの地域で運河の開鑿は試みられた。
- イ 大運河は隋代よりも唐代になってから機能を発揮した。
- ウ フビライは旧来の大運河を補修させると共に、新運河を開かせた。
- エ 元では大運河が発達したので、海運は未発達だった。

設問 3 下線部 c の「揚州」に関して誤った記述はどれか。

- ア 現在の江蘇省の長江北岸の都市である。
- イ 大運河沿線の一大物資集散地として、隋唐から明清にかけて繁栄した。
- ウ 南海貿易が盛んになると、唐はここに海上貿易を統轄する市舶司を置いた。
- エ ムスリム商人は江都（カンツー）と呼び、蕃坊が設けられた。

設問 4 下線部 d の「吐蕃」に関して誤った記述はどれか。

- ア 7世紀にソンツェン＝ガンボがチベットに初の統一王朝を築いた。
- イ 黄巢の乱に乗じて、一時長安を占領した。
- ウ 9世紀前半、唐と和平が結ばれ、「唐蕃会盟碑」が建立された。
- エ チベット文字が作られ、書写や仏典翻訳などに用いられた。

設問 5 空欄（ あ ）に最も適切な語句を記入しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで設問に答えなさい。設問 1, 2, 4, 6 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 3, 5 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

アジアの歴史上、唐の衰退と滅亡は、中央政府の権力減退と、各地に割拠する軍閥勢力の台頭により特徴づけられる。その端緒は、安史の乱をウイグルの協力によりなんとか鎮圧した後、唐の中央政府の統制力が弱体化し、各地に藩鎮が割拠したことにあった。その後、9世紀後半の諸反乱は唐の中央政府の支配に重大な打撃を与えた。そうした反乱のひとつの幹部の一人であった C は、唐に降ったものの、907年に当時の唐の皇帝を廃位し、自らが皇帝となった。唐の滅亡後、華北には「五代」と総称される諸王朝が興亡したが、その実態は、唐末の混乱時に華北に到来した沙陀などの諸集団の出身者を多く含む、軍閥相互の抗争とみることでもできる。そうした中、「五代」諸王朝のひとつ後周の有力武将であった趙匡胤が建国した北宋が、やがて華北や南方中国の大半を統合することとなる。この9世紀から10世紀の、軍閥割拠から中央政府による集権的な支配の再確立は、「中国」王朝の崩壊と再生の経緯を語る際によく言及されるが、それが必然であったのかについては、多くの議論がある。

設問 1 下線部 A について、関連する説明で正しいものを一つ選べ。

- ア 安祿山は751年のタラス河畔の戦いで唐軍を率いたが敗北し、その処罰をめぐる不満から反乱を起こした。
- イ その後、ウイグルは内部分裂を起こし、その一部は藩鎮となった。
- ウ 安祿山の盟友であった史思明は、安祿山を暗殺した後に、自ら大燕皇帝を称した。
- エ 安史の乱の鎮圧後、中央政府の財政再建のため、楊炎の主導により兩税法が施行された。

設問 2 下線部 B の「藩鎮」について、その説明として正しいものを一つ選べ。

- ア 自らの管轄地域における行政・財政権を掌握したが、軍事的権限は常に中央政府の掣肘を受けた。
- イ 折衝府を掌握し、そこで管轄地域から招募した兵士を訓練した。
- ウ その多くは強大な力を持つに至った節度使であった。
- エ 則天武后の即位に貢献した人物の多くは、藩鎮の指導者であった。

設問 3 C に入る最も適当な語句を記せ。

設問 4 下線部 D について、この人物が建てた王朝の名を下から一つ選べ。

- ア 南唐 イ 後蜀 ウ 後梁 エ 北漢

設問 5 下線部 E について、この「沙陀」が建てたいくつかの王朝と抗争・和睦しつつ、「契丹」と呼ばれる人々を中心とした国を建てた人物の名を記せ。

設問 6 下線部 F について、この人物が行わなかったことを下から一つ選べ。

- ア 文治主義による社会の安定を目指し、配下の将軍たちから軍事的指揮権を回収していった。
- イ 科挙の最終審査として殿試を導入した。
- ウ 皇帝の親衛軍（禁軍）の再編を推進した。
- エ 農閑期に農民に軍事訓練を施し、民兵として遼・西夏などの侵攻に備えさせた。

〔Ⅳ〕 以下の文章を読み、設問に答えなさい。設問 1～5 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 6 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

西欧の中世都市は11世紀以降、貨幣経済が活発化するなかで自治権を獲得し発展した。とくに北西ヨーロッパと北部および中部イタリアでは封建領主の支配を脱して多くの自治都市が成立した。北西ヨーロッパの都市は北海やバルト海沿岸地域との交易から大きな利益を上げ、13世紀にはハンザ同盟^aを結成し自身の権益を守った。一方、イタリアのヴェネツィア^b、ジェノヴァ、ピサなどの都市は東方貿易で繁栄し、カイロ^cやアレクサンドリアに拠点を置いたムスリムの商人^dとも活発な交易を行い、地中海交易圏の担い手となった。^e f

設問 1 下線部 a に関して、明らかな誤りを含むものを選びなさい。

- イ 多くの自治都市は司教座が置かれていた都市であった。
- ロ 多くの自治都市は周辺の諸侯の介入を防ぐため石造の市壁を作った。
- ハ イタリアの自治都市は一般に帝国都市と呼ばれた。
- ニ イタリアの自治都市は通常、周辺の農村地域も支配した。

設問 2 下線部 b の地域に関して、明らかな誤りを含むものを選びなさい。

- イ この地域の木材、海産物、穀物が交易の対象となった。
- ロ この地域はロシアの影響下、ギリシア正教圏となった。
- ハ バルト海沿岸地域にドイツ騎士団が植民活動を行った。
- ニ 北海沿岸に位置するブリュージュは毛織物産業で繁栄した。

設問3 下線部cに関して、この同盟に入っていなかった都市を選びなさい。

- イ ハンブルク ロ リューベック ハ ブレーメン ニ ミラノ

設問4 下線部dの都市に関して、明らかな誤りを含むものを選びなさい。

- イ この都市はユダヤ人が多く住んでいたことで知られる。
ロ この都市は第四回十字軍の担い手となった。
ハ この都市はメディチ家が支配するようになった。
ニ この都市は「アドリア海の女王」と呼ばれた。

設問5 下線部eの都市を首都とした王朝を選びなさい。

- イ ウマイヤ朝 ロ マムルーク朝 ハ ナスル朝 ニ アッバース朝

設問6 f にあてはまる名を記しなさい。

〔V〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。設問2, 3, 4, 6はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問1, 5は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

フランス革命前の政治・社会体制は、一般的に「旧制度」を意味するフランス語で A と呼ばれているが、とくに18世紀後半は、絶対王政のもつさまざまな矛盾を抱えた状況になっていた。中世以来の封建的な身分制度や課税問題、^a 経済・財政問題、思想・文化的な諸問題などである。こうした当時の社会の矛盾や問題点を指摘し、改革の必要性を主張したのが啓蒙思想家であった。^b 啓蒙思想家の思想や著作は、書物や新聞・雑誌などのメディアにより、またサロン・カフェや地方アカデミーなどの諸機関をとおして、広く市民・民衆層に伝播・普及し、社会改革の必要性を痛感させた。

1774年に国王ルイ16世が即位した時、当面の課題となったのは、このような国政の根本的な改革であり、とりわけ国家財政の再建が大きな目標となった。彼は、^c 重農主義者のテュルゴー、さらにスイス人の銀行家 B をあいついで財務総監に任命して財政改革を図ったが、貴族などの保守勢力の反対のために成功しなかった。そこで1787年にまず名士会が招集されたが、紛糾したため、ついに1789年に^d 三部会が招集されることになった。この貴族の反抗がフランス革命勃発の大きな引き金となった。

設問1 A にあてはまる用語は何か。カタカナで答えよ。

設問2 下線部aに関連して、18世紀後半のフランス絶対王政が抱えていた諸問題について述べた次の文の中で、適切なものはどれか。

- イ 国民は、貴族が第一身分、聖職者が第二身分、平民が第三身分と区分されたが、第一身分と第二身分が、免税や上級官職につく権利などの特権を有していた。
ロ トマス＝ペインが『第三身分とは何か』というパンフレットを発表し、特権身分を批判して、当時の世論に大きな影響を与えた。
ハ フランスは、ルイ14世時代の対外戦争が国家財政の悪化を招き、さらにルイ15世の統治下で行われた七年戦争でオーストリアやイギリスと対立して、フロリダ植民地を失った。
ニ フランスは、1778年にアメリカと同盟を結び、アメリカ独立革命に植民地側に立って参戦したが、このための戦費がフランス財政を圧迫した。

設問 3 下線部 **b** に関連して、啓蒙思想家とその著作について述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。

- イ モンテスキューは、『法の精神』で諸国の法体制や風土を考察し、三権分立を説いた。
- ロ ヴォルテールは、『哲学書簡』でイギリスの制度や文物を紹介した。
- ハ ルソーは、文明の進歩を賛美し、『社会契約論』で国家主権論を展開した。
- ニ デイドロとダランベールが編纂した『百科全書』には、モンテスキュー、ヴォルテール、ルソーも執筆した。

設問 4 下線部 **c** に関連して、重農主義者として知られる有名な学者は、次のうちの誰か。適切な人名を選びなさい。

- イ ホップズ
- ロ ヒューム
- ハ コルベール
- ニ ケネー

設問 5 B にあてはまる人物は誰か。人名を答えよ。

設問 6 下線部 **d** に関連して、三部会について述べた次の文の中で、適切なものはどれか。

- イ フィリップ 4 世は、ローマ教皇ボニファティウス 8 世との対立から、フランス最初の身分制議会である三部会を14世紀初めに開いた。
- ロ ルイ13世の宰相リシュリューは、王権に対抗する貴族やユグノーを抑えるために、三部会を開いた。
- ハ 1789年5月、三部会は、ルイ14世の親政による招集停止以来、約130年ぶりに開かれた。
- ニ 1789年の三部会では、議決方法をめぐって特権身分と第三身分が対立し、第三身分の議員は自分たちが真に国民を代表するとして、国民公会を宣言した。

〔Ⅵ〕 以下の文を読んで、各設問に答えなさい。設問 1～4 は、マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 5、6 は、記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

1918年に終結した第一次世界大戦においてイギリスは、多大の戦死者を出しながらも、戦勝国となった。大戦後の「ヴェルサイユ体制」のもと、イギリスは B ^A などの委任統治領を獲得した。また、インドでも大戦後の強力な反植民地運動 ^C にもかかわらず、イギリスの植民地支配は1947年の独立にいたるまで続けられた。インドでの民族運動の激化とともに、ビルマ（現ミャンマー）でも、1930年に結成された E ^D 党などが独立運動を進めた。また、英領インドの中でもイスラーム教徒勢力が強い地域を中心として、全インド＝ムスリム連盟が、F を指導者として、民族主義運動を展開した。

設問 1 下線部 **A** に関して、第一次世界大戦中のイギリスについて正しい説明はどれか。

- イ 大戦中に、成人女性の国政への選挙権が認められた。
- ロ 総力戦といわれたが、男子への徴兵制は見送られた。
- ハ 戦争指導の失敗のため、戦時下にロイド＝ジョージは首相を罷免された。
- ニ フランス、ロシアとともにサイクス・ピコ協定を結んだ。

設問 2 B に当てはまらない地域はどれか。

- イ シリア
- ロ イラク
- ハ トランスヨルダン
- ニ パレスチナ

設問3 下線部Cに関して、インドにおける反植民地運動について、年代順に古いものから3番目はどれか。

- イ インド政府はローラット法を發布した。
- ロ ネルーら、国民会議派内の急進派が、完全独立（プールナ＝スワラージ）を決議した。
- ハ 1935年インド統治法によって、州政治はインド人に委譲された。
- ニ ガンディーが、国民会議派大会で、非協力運動を提示した。

設問4 下線部Dに関連して、独立後のインドについて誤った説明はどれか。

- イ 近年、BRICSと呼ばれる高い経済成長を誇る国家の一つになった。
- ロ インディラ＝ガンディーは首相を務め、外交的にはソ連と友好関係を深めた。
- ハ 1971年のインド＝パキスタン戦争後、東パキスタンがバングラデシュとして独立した。
- ニ 初代首相ネルーは親米政策を取り、資本主義的な経済の発展を目指した。

設問5 E に当てはまる語は何か。

設問6 F に当てはまる人物は誰か。

〔Ⅶ〕 以下の文章を読み、各設問に答えなさい。設問1、2、4～6の解答はマーク解答用紙、設問3の解答は記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

第二次世界大戦後の国際秩序の中心を占めるようになったのは、アメリカ合衆国とソ連であった。両国は間もなく冷戦と呼ばれる緊張関係に入り、世界中の多くの国が米ソ両国のいずれかの陣営に分かれて対峙しあうことになった。

こうした国際状況のもとで、二度の世界大戦の戦場となったヨーロッパ各国は、それぞれに社会の復興を模索した。しかし冷戦が厳しさをますますなかで、対立の最前線となったドイツは東西に国家が分裂し、ソ連占領地区ではドイツ民主共和国が成立した。一方、西側諸国の一員となったドイツ連邦共和国では、キリスト教民主同盟のアデナウアーによる長期政権が経済復興を達成した。

米ソ両国が歩み寄りと対立を繰り返した1950～70年代には、ヨーロッパ各国も自由化や民主化、東西対立の緩和をめぐる様々な変動を経験した。ドイツ連邦共和国では1969年に社会民主党を中心とする連立政権が成立し、ブランド首相が東欧諸国との関係改善に努めた。東欧諸国では1980年代にはいると民主化運動が次第に活発化し、80年代末に体制変革を目指す運動が連鎖的に起こったことで、社会主義体制が崩壊していった。

設問1 下線部aに関連して、冷戦時代の世界の諸同盟・諸条約のうち、イギリスが参加したことのないものをイ～ニから一つ選びなさい。

- イ SEATO（東南アジア条約機構）
- ロ METO（バグダード条約機構）
- ハ ANZUS（太平洋安全保障条約）
- ニ EFTA（ヨーロッパ自由貿易連合）

設問2 下線部bに関連して、第二次世界大戦後の各国の説明として正しいものをイ～ニから一つ選びなさい。

- イ イギリスのチャーチル首相は「ゆりかごから墓場まで」といわれた社会福祉政策を開始し、国民生活の安定をはかった。
- ロ フランスはド＝ゴール大統領の指導の下で、第五共和政がインドシナ戦争を開始した。
- ハ イタリアでは、第二次世界大戦中にレジスタンスの中心として活動した共産党が政権を握り、王政を廃止した。
- ニ テイトーの率いる抵抗運動によってナチスからの自力解放を達成したユーゴスラヴィアは、第二次世界大戦後にコミンフォルムから除名された。

設問3 下線部 c に関連して、同党の前身である中央党は、ビスマルクによる弾圧政策に対抗するなかで勢力を拡大した。この弾圧政策の名称を答えよ。

設問4 下線部 d に関連して、この時期の各国の説明として正しいものをイ～ニから一つ選びなさい。

- イ ポーランドでは1950年代初頭にゴムウカを指導者とする自主管理労組「連帯」が組織され、政府に改革を要求した。
- ロ 1960年代半ばのソ連では、第一書記となったブレジネフがスターリン批判を行った。
- ハ 1960年代末のチェコスロヴァキアでは「プラハの春」と呼ばれる民主化運動が起こったが、ワルシャワ条約機構軍によって鎮圧された。
- ニ 1970年代のスペインでは、軍人出身の独裁者であるフランコが死亡し、新憲法が制定されて共和政に移行した。

設問5 下線部 e に関連して、ドイツ社会民主党に所属したことのない政治家をイ～ニから一つ選びなさい。

- イ ベルンシュタイン
- ロ シュトレゼマン
- ハ エーベルト
- ニ カール＝リープクネヒト

設問6 下線部 f に関連した出来事を時代順に古いものから正しく並べているものをイ～ニから一つ選びなさい。

- イ チェルノブイリ原子力発電所の事故 → 中距離核戦力全廃条約の調印 → ベルリンの壁の崩壊 → 独立国家共同体（C I S）の結成
- ロ 独立国家共同体（C I S）の結成 → チェルノブイリ原子力発電所の事故 → 中距離核戦力全廃条約の調印 → ベルリンの壁の崩壊
- ハ ベルリンの壁の崩壊 → 中距離核戦力全廃条約の調印 → チェルノブイリ原子力発電所の事故 → 独立国家共同体（C I S）の結成
- ニ 中距離核戦力全廃条約の調印 → ベルリンの壁の崩壊 → 独立国家共同体（C I S）の結成 → チェルノブイリ原子力発電所の事故

〔Ⅷ〕 次の文を読み設問に答えなさい。設問1は記述解答用紙の所定欄に記し、設問2～4はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

戦災や革命などによって数多くの著名な美術作品やモニュメントが失われてきた。今日我々が目にするのは、たまたま破壊を免れたものといえる。たとえば、中国では、清の雍正帝・乾隆帝の時代に建築と美術工芸の粋を集めて造営された離宮 A は、アロー戦争の際に英仏両軍によって徹底的に略奪破壊され、1900年の八カ国連合軍の焼き討ちで更に荒廃した。かつて建物を飾った美術品は各国に散逸し、遺跡は今も廃墟のままである。

西欧世界に目を移すと、クリュニー修道院は巨大かつ壮麗な威容を誇っていたが、フランス革命によって破壊されてしまった。^(ア)19世紀にはセーヌ県知事オスマンによる^(イ)パリの全面的な都市改造事業のために石材を供給し続け、現在では一部を残して空地が広がるばかりである。一方、バドヴァのスクロヴェーニ礼拝堂には^(ウ)ジョットの有名なフレスコ画があるが、第二次世界大戦中にこの礼拝堂に隣接する聖堂で連合軍の爆弾が炸裂し、ルネサンスの巨匠マンテーニャの作品が損壊した。ジョットの絵が爆撃をのがれたのは僥倖にすぎない。

設問1 空欄Aに入る語を記しなさい。

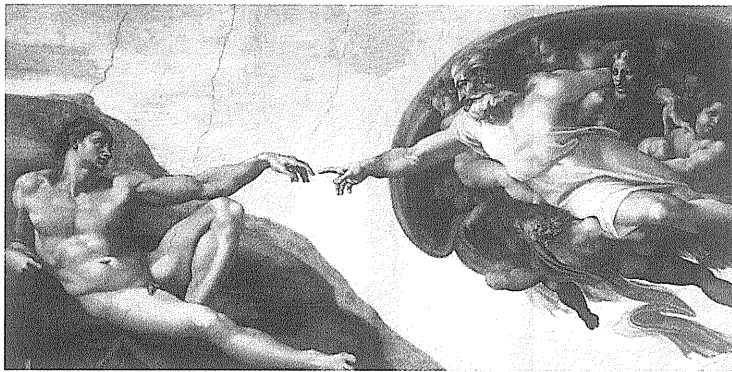
設問2 下線(ア)に関して最もふさわしい記述をa～dの選択肢から一つ選びなさい。

- a 対抗宗教改革(カトリック宗教改革)を担った。
- b 聖ベネディクトゥスの理想への回帰をとなえ、教会改革運動をすすめた。
- c 中世後期に成立した托鉢修道会の修道院である。
- d カタリ派など異端への審問に大きく貢献した。

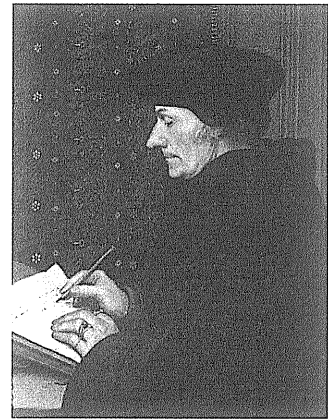
設問3 下線(イ)と同時代ではない画家をa～dの選択肢から一つ選びなさい。

- a ワトー b モネ c セザンヌ d ルノワール

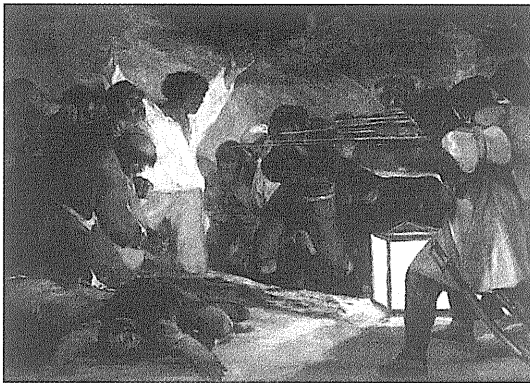
設問4 下線(ウ)の画家の作品をa～dの選択肢から一つ選びなさい。



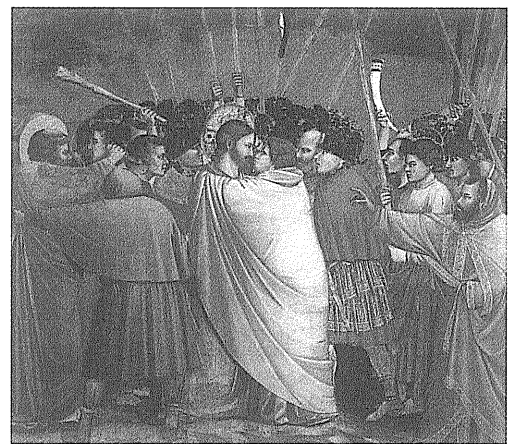
a



b



c



d

〔以下余白〕

